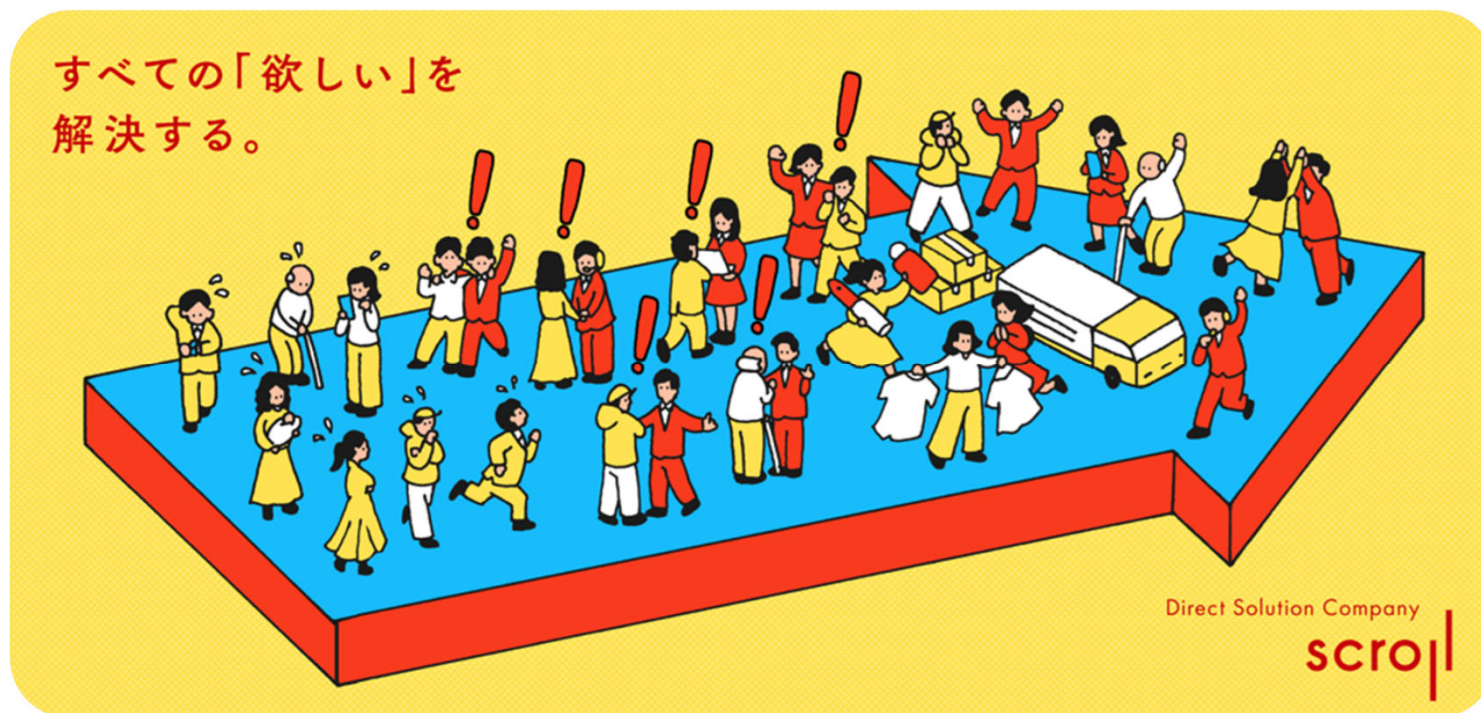


2027年3月期 第2四半期(中間) 決算説明資料

FY2026 Q2
(2026年4月1日 ~ 2026年9月30日)

株式会社スクロール

証券コード: 8005 (東証プライム)



目次

01

2027年3月期 第2四半期(中間) 連結決算概要

P.2

02

事業セグメント業績

P.9

03

Appendix
事業トピックス / 中長期ビジョン / 事業及び会社概要

P.14

SECTION 01

2027年3月期 第2四半期(中間) 連結決算概要

Q2 連結決算ハイライト

決算概況：増収増益

- 売上高：ソリューション事業が増収をけん引。
- 経常利益：通販事業は苦戦するも、ソリューション事業の成長及びeコマース事業の構造改革が寄与し、増益。
- 中間純利益：前年同時期に特別損失、当第1四半期において特別利益を計上し、大幅に増益。

単位:[百万円]	26年3月期 Q2	27年3月期 Q2	増減額	増減率
売上高	42,569	43,170	+601	+1.41%
営業利益	3,069	3,211	+141	+4.61%
経常利益	3,297	3,577	+279	+8.49%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,537	2,799	+1,261	+82.04%
一株当たり 中間純利益	44.55円	83.25円	+38.70円	—

※ △は損失または減少を表します。以下、すべてのページにおいて同様に表記します。

2027年3月期 経営計画(進捗)

売上高

■ 27年3月期通期計画
90,000 百万円



■ 27年3月期Q2実績
43,170 百万円



経常利益

■ 27年3月期通期計画
6,500 百万円



■ 27年3月期Q2実績
3,577 百万円



資本政策・株主還元

■ ROE目標

15.0% 以上

中長期ビジョン定量目標（2029年度）

■ 還元方針(2029年度まで)

連結配当性向60% または
DOE 8.5%

いずれか高い方を基準とした累進配当

■ 27年3月期年間配当予想

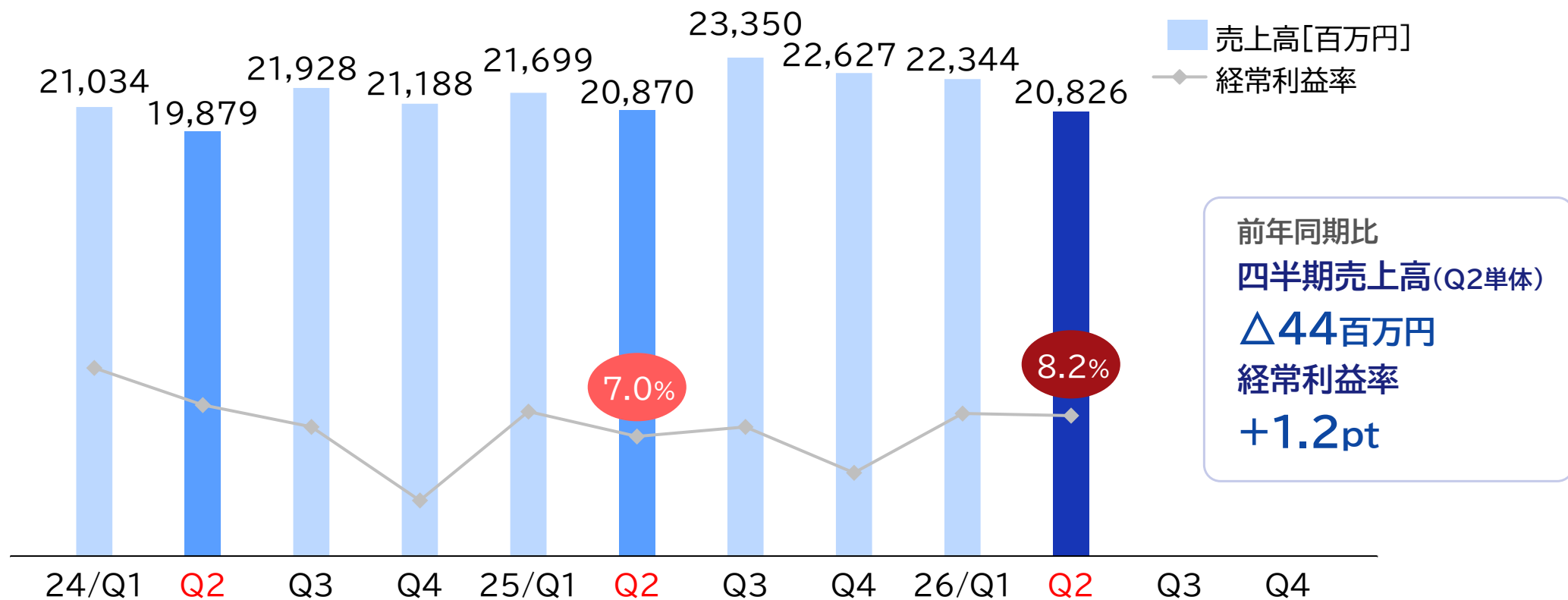
102 円/株(うち記念配当5.0円)

(高水準な株主還元を継続)

連結四半期売上高の推移

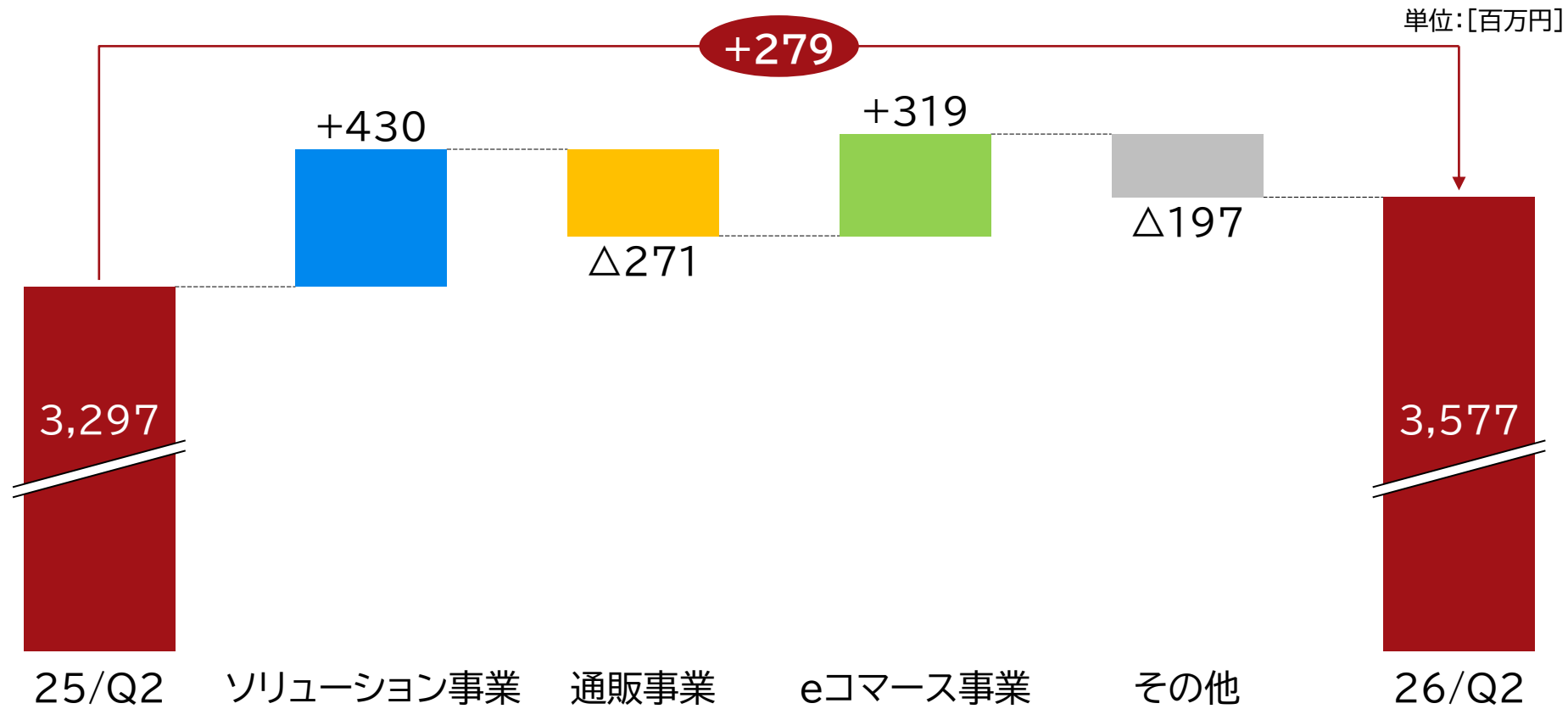
概ね前年並みの売上高を確保

Q2単体では売上高が微減となったが、経常利益率は改善。



Q2 連結経常利益の分析

通販事業が苦戦するなか、ソリューション事業の成長及びeコマース事業の事業整理が順調に進展し、連結全体では増益



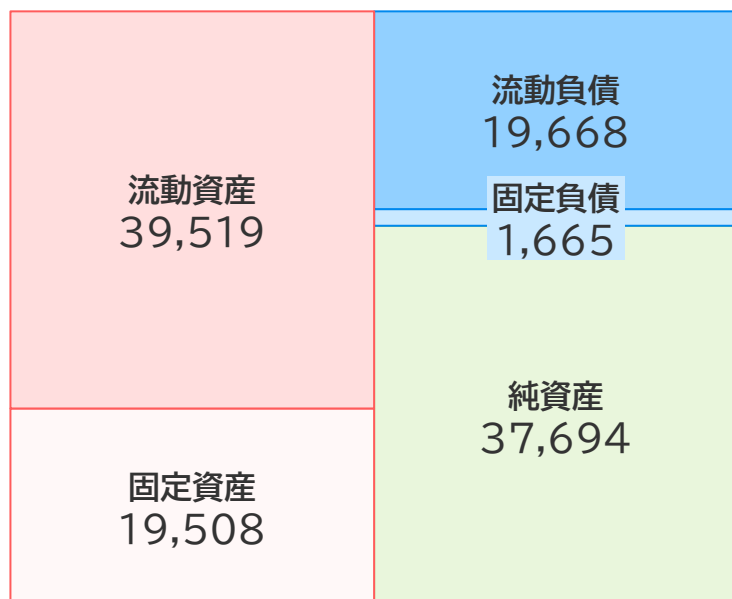
連結貸借対照表の状況

堅実な財務基盤を維持

20億円規模の自己株式を取得し、資本効率の最適化を図る。

26年3月31日時点

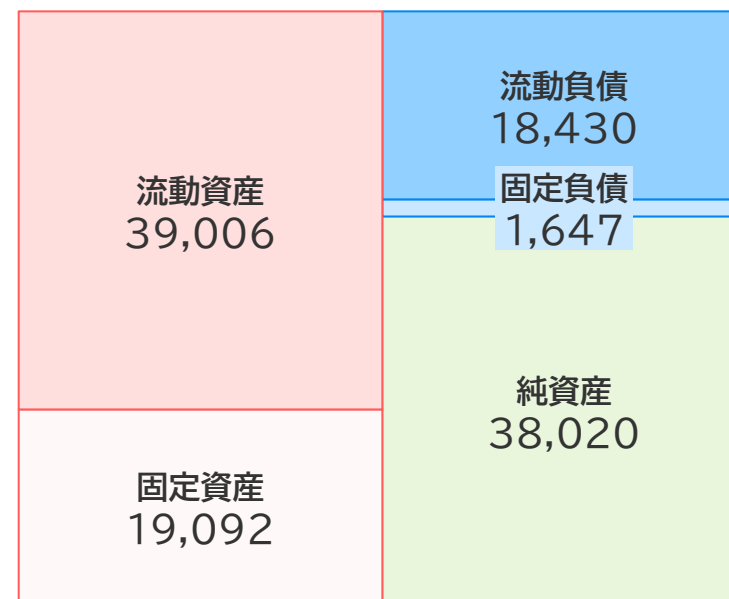
単位:[百万円]



自己資本比率
63.9%

資産合計／負債・純資産合計
59,028 百万円

26年9月30日時点



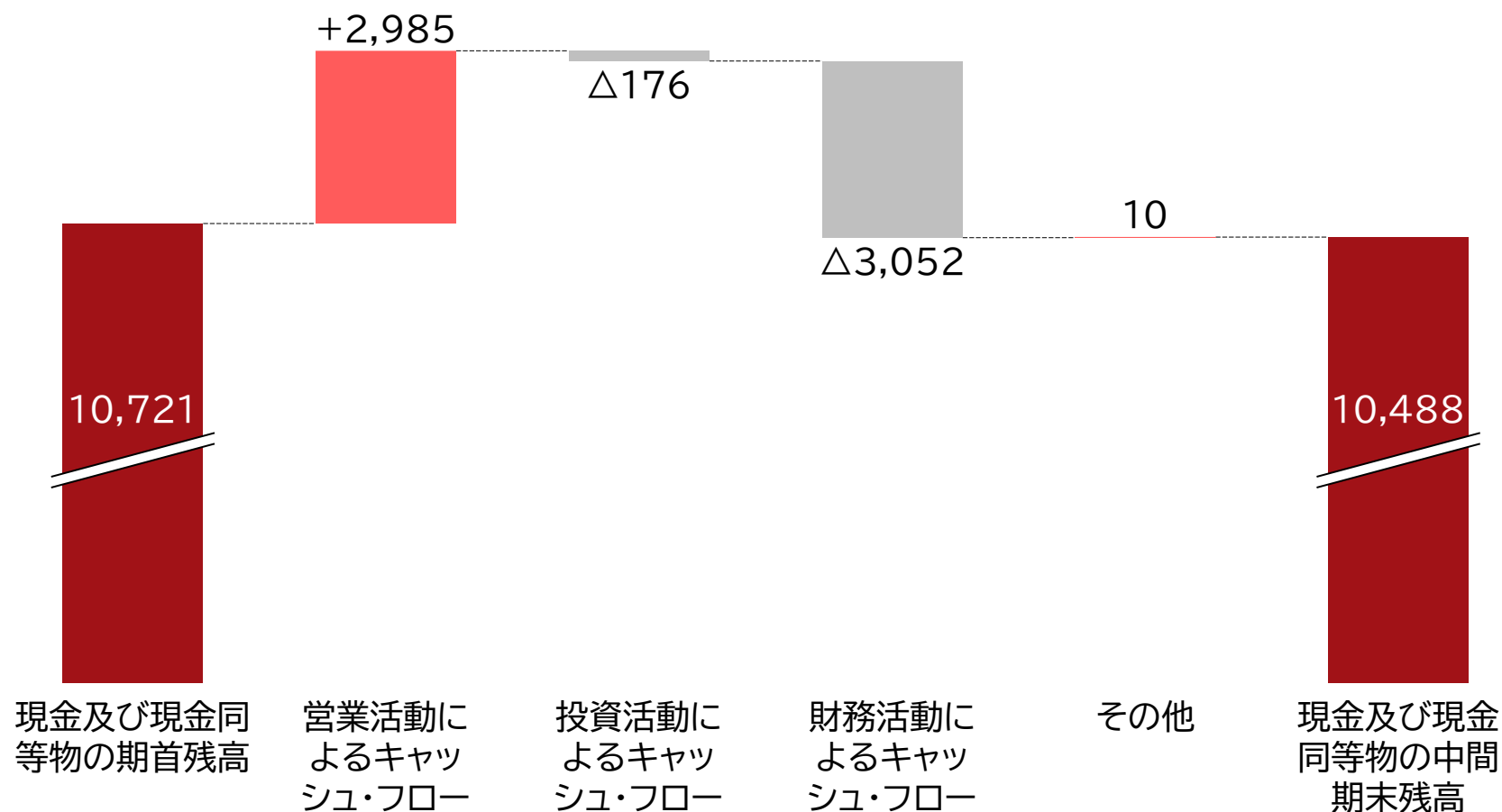
自己資本比率
65.4%

資産合計／負債・純資産合計
58,098 百万円

→
増減額
△930百万円

連結キャッシュ・フローの状況

単位:[百万円]



現金及び現金同等物
前期末比
△232百万円

当期のポイント

財務CF:

自己株式の取得 △2,056
配当金の支払 △995

SECTION 02

事業セグメント業績

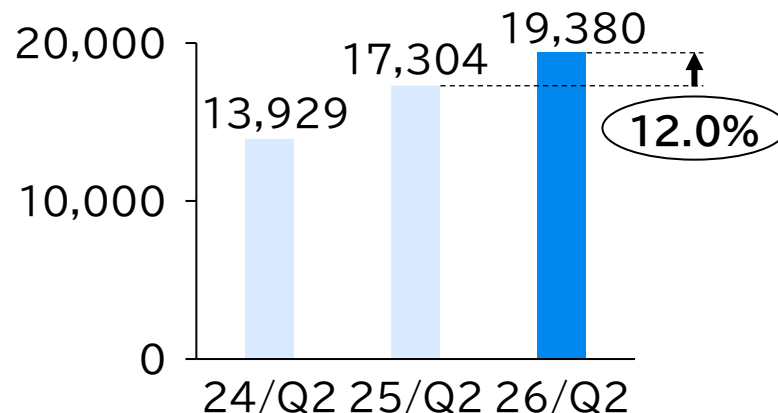
ソリューション事業 Q2 業績

■ 四半期決算のポイント

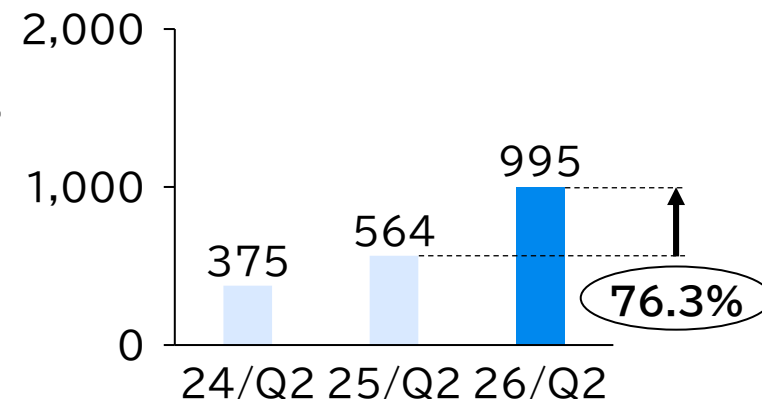
増収 増益

- ・物流代行におけるクライアントの物量の増加及び庫内稼働率が改善し、売上増加に寄与。
- ・決済代行の債権回収に係る引当金の計上負担軽減が増益に大きく貢献。

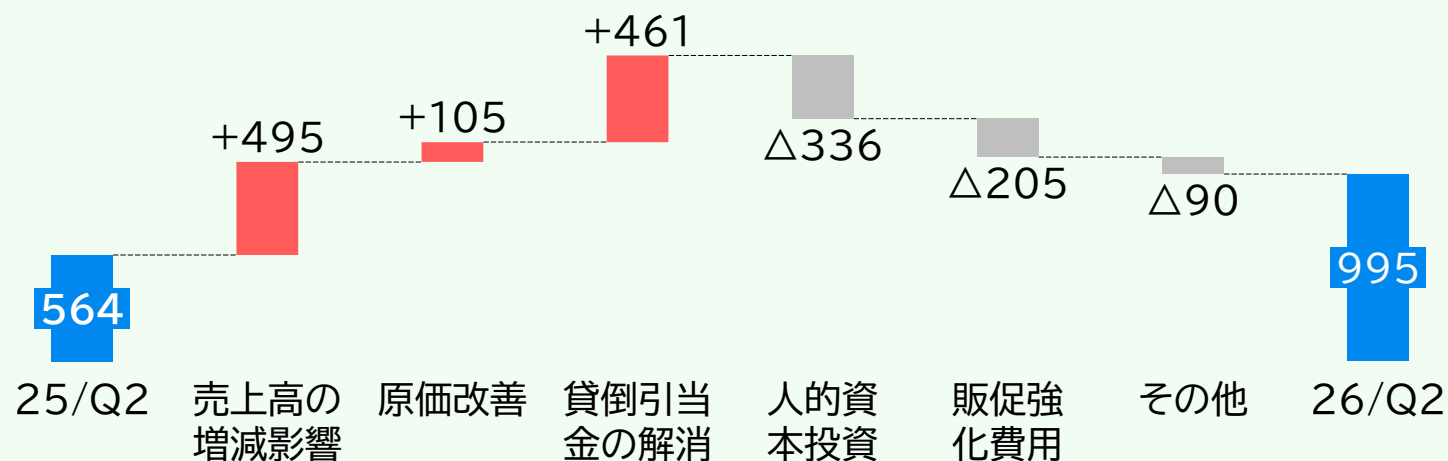
■ 売上高の推移[百万円]



■ 経常利益の推移[百万円]

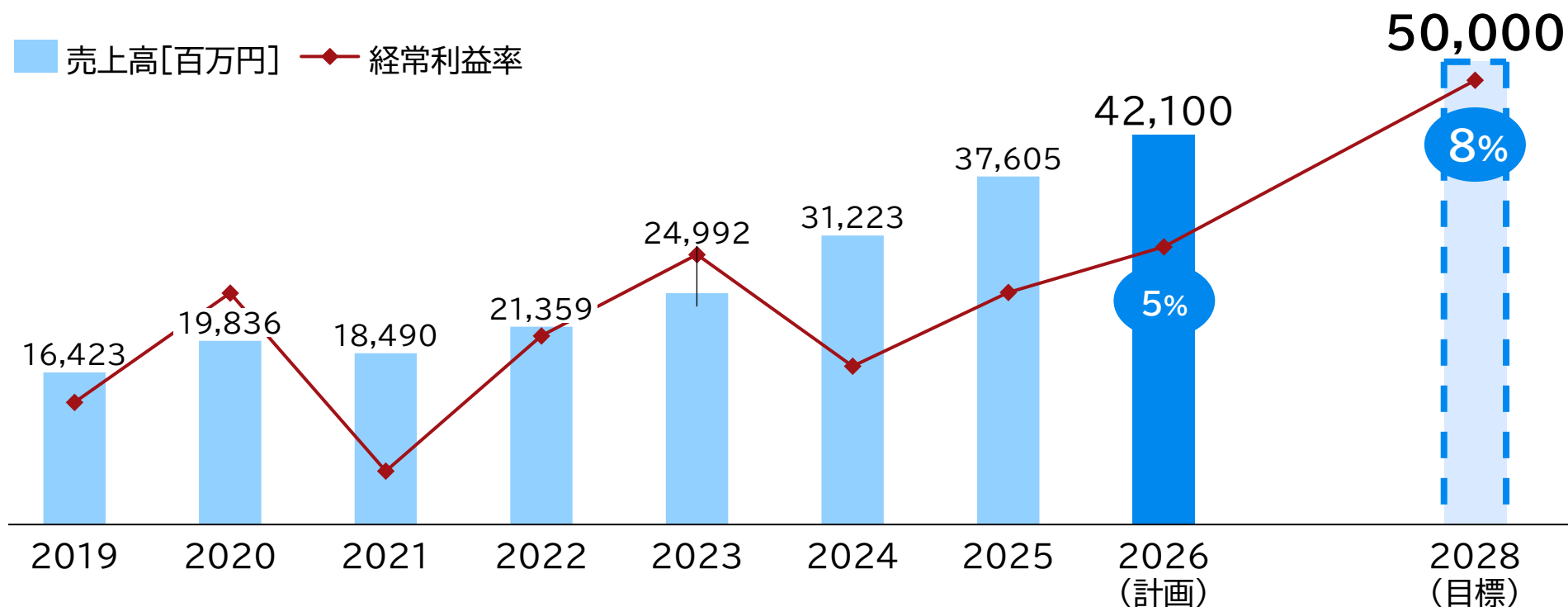


■ 経常利益の分析[百万円]

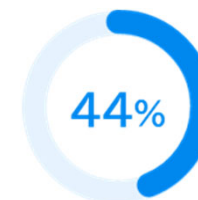


ソリューション事業 収益力の強化を推進

売上高の成長に追随できるよう稼ぐ力を高め、2028年度に売上高500億円、経常利益率8%の達成を目指す。



連結全体に占めるソリューション事業の売上高構成比 ※連結調整前



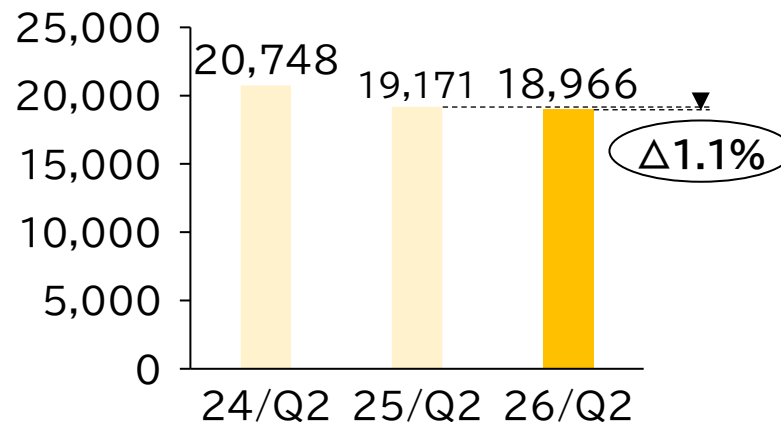
通販事業 Q2 業績

■ 四半期決算のポイント

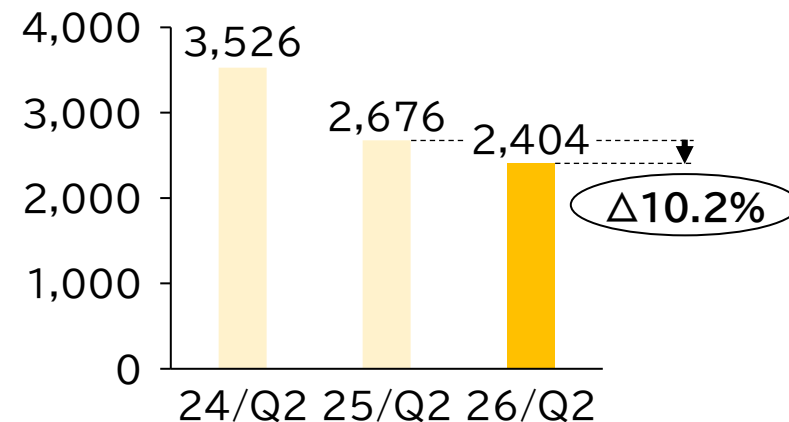
減収 減益

- ・アパレル商材の苦戦により減収
- ・為替の影響(円安)により、原価率が上昇
- ・カタログ費の削減等によりコスト改善を図る

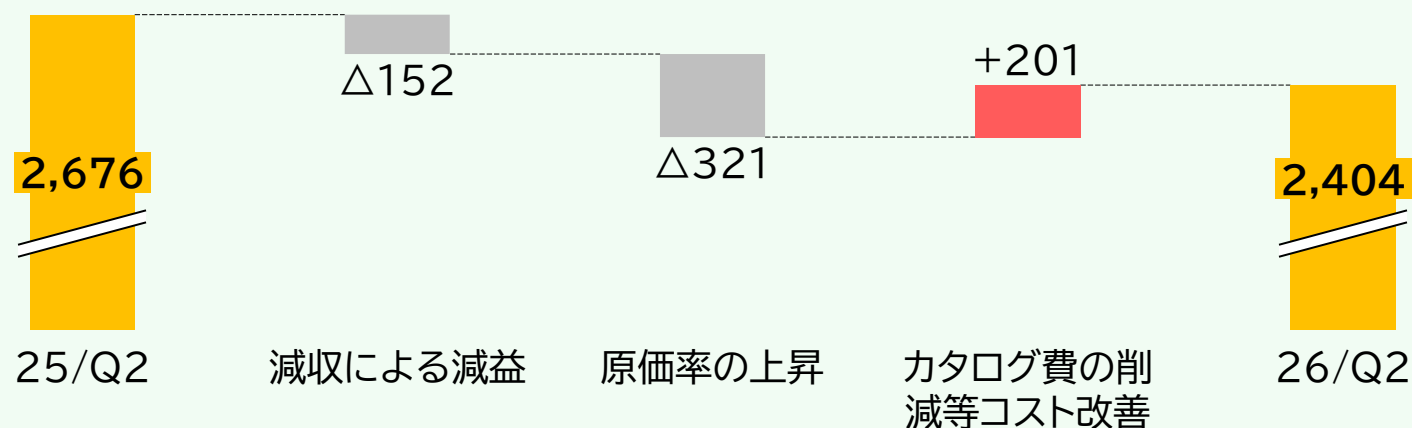
■ 売上高の推移[百万円]



■ 経常利益の推移[百万円]



■ 経常利益の分析[百万円]



eコマース事業 Q2 業績

■ 四半期決算のポイント

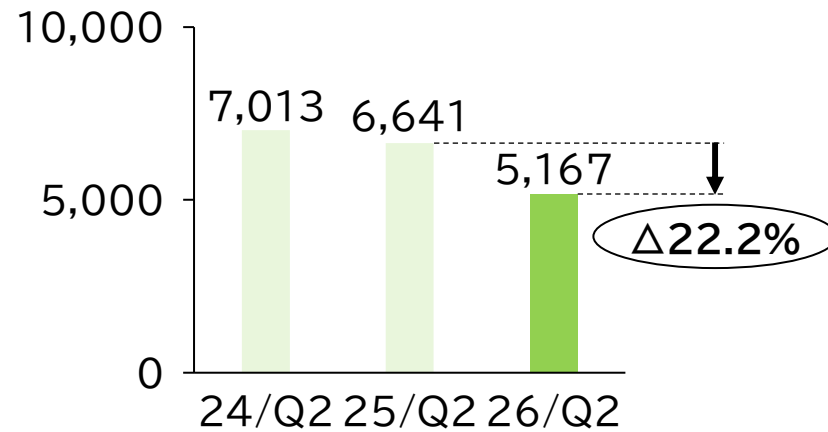
減収 増益



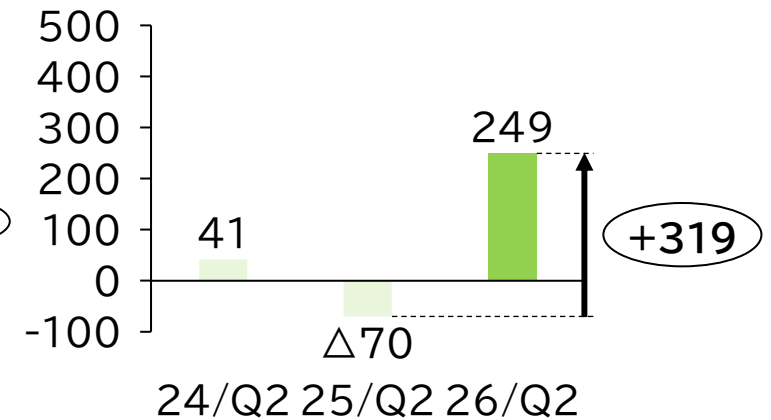
不採算事業の整理及び新たな事業基盤構築に向けたビジネスモデルの転換を推進中

- ・不採算事業からの撤退により減収
- ・事業整理が順調に進展し損失額は減少

■ 売上高の推移[百万円]



■ 経常利益の推移[百万円]



■ 経常利益の分析[百万円]



SECTION 03

Appendix

事業トピックス / 中長期ビジョン / 事業及び会社概要

事業トピックス

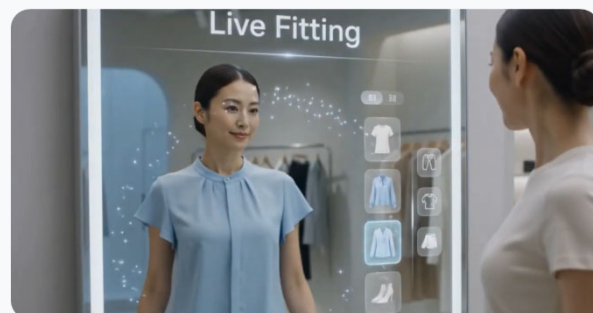


ソリューション事業

キャッチボール BtoB決済を第二の柱へ ～創業20周年プロジェクトが始動～

- 企業間決済サービス「掛払い.com」を中核に据え、煩雑な請求業務のDX化と売掛金の未回収リスクの解消を推進
- 決済プロセスの一部を切り出して提供するBPO領域を拡張

<https://www.catch-ball.jp/news/press/1203/>



通販事業

スクロールインターナショナル Lightchainに新機能が追加 ～ライブフィッティング～

- カメラに映る人物に対し、洋服・ドレスをリアルタイムで切り替えながら着用イメージを確認できるサービス
- ECサイトへの組み込みに加え、ブライダルなど実店舗のディスプレイでの活用を期待

<https://www.youtube.com/shorts/lYs7i4eoMjk>



サステナビリティ

衣料品回収事業の展開促進 ～生協店舗にて回収BOXの設置を開始～

- 2023年夏～順次、衣料品回収事業をカタログにて展開
- 累計で1,040tの回収を実施、衣料品回収キットの売上は一部をNPO団体に寄付
- 一部生協店舗にて衣料品と雑貨品の回収BOX「すまいるサークルポスト」の設置を開始
※リユース前提の回収のため、廃棄物は投函いただけません

中長期ビジョン 定量目標

中長期ビジョンの設定

創業90周年となる2029年度までに達成すべき定量目標を設定、ソリューション事業と通販事業の2本柱で経営を推進

2025年度(実績)

連結純利益

27.6 億円

ROE

7.5 %

2026年度(予想)

連結純利益

47 億円

ROE

12.4 %

2029年度(目標)



連結純利益

60 億円以上



ROE

15 %以上



総還元性向

60 %程度

事業ポートフォリオの変革

eコマース事業

- ・不採算事業からの撤退を完遂
- ・高収益なDtoCモデルへの転換と収益改善



事業再生



通販事業

- ・生協との強固な結びつきをベースに安定収益
- ・攻めと守りのバランス経営による利益最大化

低重心経営



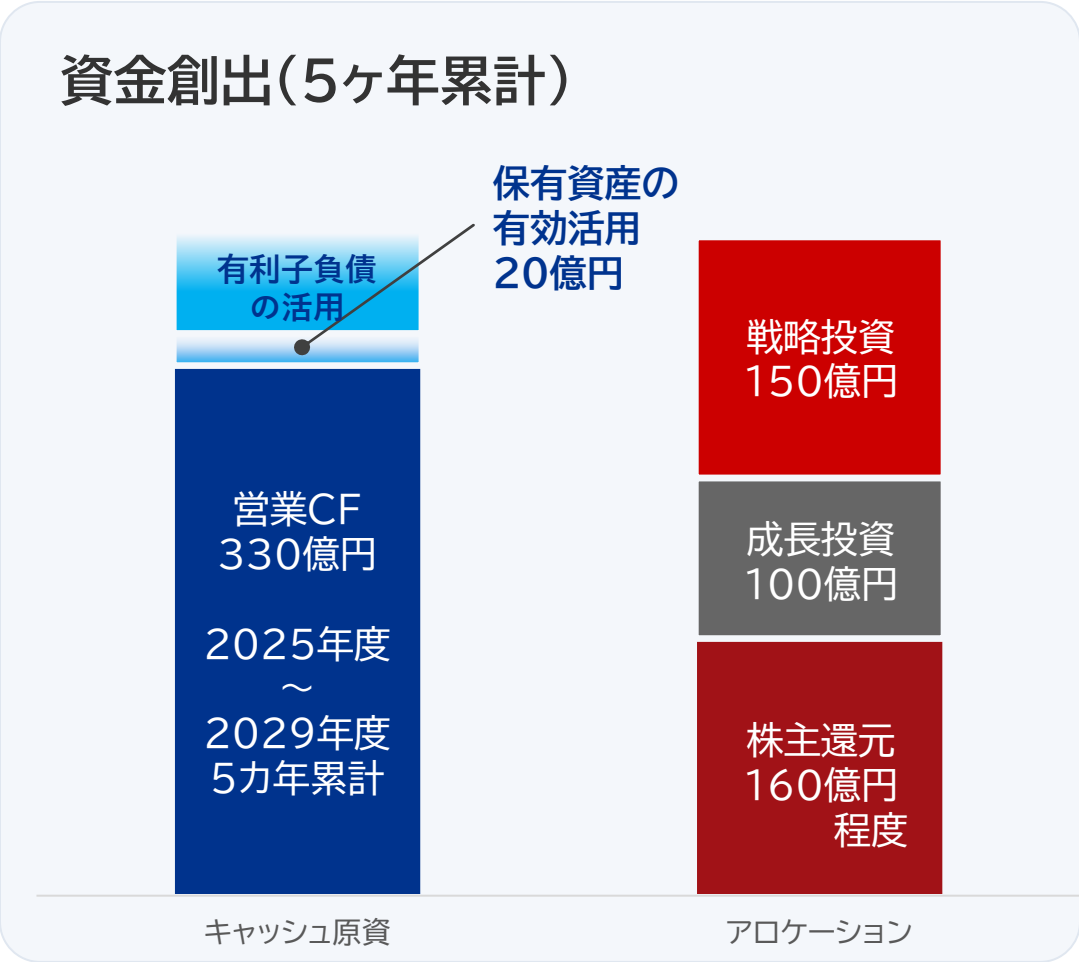
ソリューション事業

- ・物流代行、決済代行、BPOに経営資源を集中
- ・M&A等を含め非連続に成長、収益性を強化

事業領域拡大

キャピタルアロケーション方針(FY2025-FY2029)

創出する安定キャッシュと余剰資産の流動化により、「利益成長のための投資」と「配当性向・DOEに基づく安定的な株主還元」を、厳格な財務規律を持って最適に配分する



キャッシュの使途

戦略投資

150 億円

非連続な成長を実現するためのM&A等

成長投資

100 億円

既存施設の維持更新、物流施設の増床、効率化や基盤強化に資する支出

株主還元

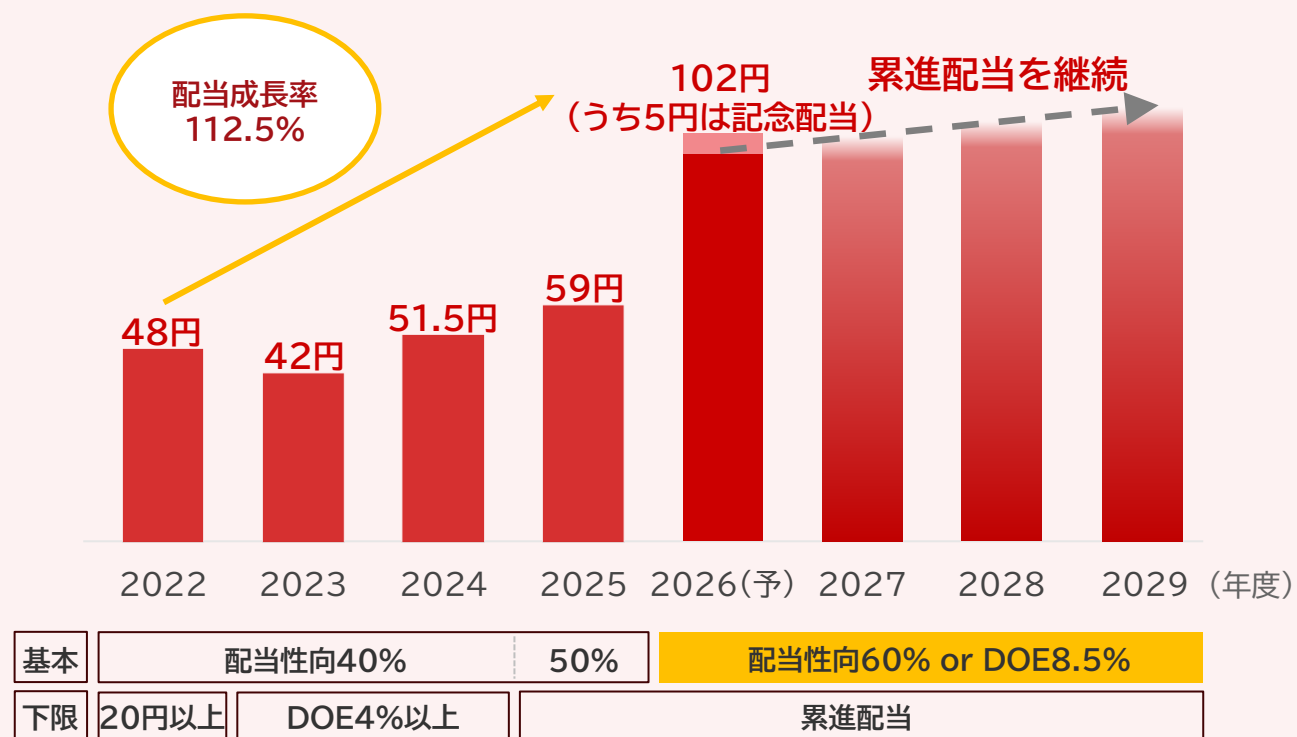
160 億円程度

連結配当性向60%またはDOE8.5%のいずれか高い方を基準とした累進配当の実施。還元ベースの着実な拡大。

株主還元方針

- ▶ 中長期ビジョンに掲げるROE15%以上の達成に向け、還元指標を「配当性向60%またはDOE8.5%」へ
- ▶ 累進配当により短期業績に左右されない安定的な利益配分と、機動的な自己株買いを推進する

1株当たり配当金の推移



配当方針

連結配当性向60%またはDOE8.5%
のいずれか高い方を基準とした**累進配当**を実施。

追加還元

企業価値最大化を目的とした成長投資と安定的利益配分を実施したうえで、さらに追加還元の余地がある場合は、**機動的に自己株式の買入れなどを行い**、株主の皆様へ還元する。

事業概要

ソリューション事業

《BtoB》

EC・通販事業者を360度サポートする「ワンストップソリューションサービス」を提供しています。

【会社構成】



通販事業

《BtoBtoC》

主に生協宅配事業の組合員様向けに通信販売(カタログ・一部インターネット)を展開しています。

【会社構成】



詩克樂商貿
(上海)
有限公司

SCROLL
VIETNAM
CO.,LTD.

SCROLL
BANGLADESH
CO.,LTD.

eコマース事業

《BtoC》

主に自社サイトやショッピングモールを通じて、専門特化した商品のインターネット販売を行っています。

【会社構成】



A X E S

グループ管轄事業

《BtoB》

全国各拠点の物流センター運営、不動産の有効活用機能を担っています。

【会社構成】



会社概要

すべての「欲しい」を解決する。

scroll Direct Solution Company

会社名	株式会社スクロール (Scroll Corporation)
本社所在地	静岡県浜松市中央区佐藤二丁目24番1号
代表者	代表取締役社長 鶴見 知久
設立 / 創業	1943年 (昭和18年) 10月1日 設立 (創業:1939年)
主な事業内容	ソリューション事業 (EC・通販事業者向け支援)、通販事業、eコマース事業、グループ管轄事業
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード:8005)



お問合せ窓口

経営統括部 経営企画課

TEL :053-464-1114(直通)

E-mail :ir@mb.scroll.jp

ホームページアドレス <https://www.scroll.jp/>

■将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。